

BlackHat USA 2022 ・ DEF CON 参加報告

石川 朝久¹

概要：コロナ禍よりカンファレンス開催がオンラインやハイブリッド方式になる中、米国最大規模のセキュリティカンファレンスである Black Hat 2022 と DEF CON 30 が 8 月に開催された。毎年多くの攻撃手法や脆弱性、ツールなどが発表されており、本稿では同会議の概要について報告する。

キーワード：参加報告

Report on BlackHat USA 2022 ・ DEF CON

Tomohisa Ishikawa¹

Abstract: Black Hat 2022 and DEF CON 30, two of the largest security conferences in the United States, were held in 2022 August. This report shares the overview of presentation and global trends author understand, since these conferences share many presentations related to new attack techniques, vulnerabilities, and tools are presented every year.

Keywords: Conference Report

1. はじめに

BlackHat USA[1]と DEF CON[2]、米国で開催される最大規模のセキュリティカンファレンスである。コロナ禍でオンラインやハイブリッド方式が主流になる中、今回 2 つのカンファレンスがオフサイトを主軸としたカンファレンス開催となり、8 月に開催された。

BlackHat USA は、毎年様々な新しい攻撃手法や脆弱性、ツールなどが発表され、今後注目すべき脆弱性や攻撃のトレンドがわかるとともに、Business Hall では、大手セキュリティベンダーのみならず、スタートアップ企業なども多数参加するため、製品やサービスのトレンド、注目されているセキュリティ技術などを把握することが可能となる。

また、DEF CON 30 では、BlackHat とは異なる雰囲気を持っており、CTF やテーマ別の Village など開始あされる。発表では、両カンファレンスの様子やプレゼンテーションの内容を共有する。

2. BlackHat USA 2022 参加概要

筆者は大きく 2 つの目的で参加した。第一に、BlackHat USA 2022 で発表されるプレゼンテーションを聞き、今後のセキュリティ動向や注目すべきトレンドを把握することである。第二に、Business Hall への参加である。毎年、各セキュリティベンダーは子のカンファレンスのタイミングに合わせ

て新しい機能や、新しい製品を発表する。こうしたトレンドを知ることにより、実務上注目すべき技術などを把握するためである。

3. DEF CON 30 参加概要

DEF CON は、BlackHat 2022 に行われるカンファレンスである。ここでは、メインのプレゼンテーションもさることながら、CTF (Capture the Flag) と呼ばれるイベントや、Village と呼ばれるテーマ別に様々なセッションなどが開かれる。こうした Village では、最新の情報に関するプレゼンテーションなども行われており、各セキュリティの最新トレンド等を追うのに有益である。

参考文献

- [1] BlackHat USA. <https://www.blackhat.com/>
- [2] DEF CON <https://defcon.org/>

¹ 東京海上ホールディングス株式会社
Tokio Marine Holdings, Inc.
tomohisa.ishikawa2@tokiomarinehd.com